

ホーム名：グループホームはるすのお家・阪南（すずらん・ききょう）					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し共有実践につなげています	一・笑いと楽しみのある生活になりますように、おはようからおやすみまでいつもそばにいます。一・一人ひとりの声に耳を傾け安心、安全な暮らしのために支援します。 の2項目が理念として掲示されている。	一人ひとりに対してどのような支援がなされているか、介護計画に活かされるよう取り組まれることを望む。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との関わりはなかなか広げられていない	地元職員の情報を得て、地域行事（秋祭り等）に参加している。地元のルームクリーニング店・電気店・宅配牛乳店・食料品店等を積極的に利用しているが、近隣住民との交流は余り広がらない。	地域に積極的に出る事で付き合いも広がる。認知症の理解、事業所の理解を深める為にも、近隣との日常的な交流に期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行政からの依頼で講演会や勉強会などの啓発活動に参加しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では日々の様子を報告し、様々な意見交換が出来ておりサービス向上に活かしています	家族の出席を中心に、市職員を交えて開催されている。意見交換では家族からの発言もある。今後は地域包括支援センター職員の会議への出席がある。昨年度の開催は4回であった。	市職員の出席で直に運営を見て頂け、また家族の声を聞く場もあり、大変有意義である。会議録のフォーム見直しと家族への報告方法について検討されたい。他グループホームの運営推進会議への出席で得られた事を、大いに活かされたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	ホーム長を中心として会議に参加するなど日頃より連携がとれています	運営推進会議への出席で実情を見て頂く事が出来ており、協力関係も築かれている。市民対象の「認知症」勉強会では、グループホームについて話す時間を持った。	運営推進会議では家族の声を直接聞いて頂けている。互いに協力できる関係を、今後も継続されたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	内部研修を行い理解は出来ている。が安全面を考慮し施錠等が必要となる時もあります	研修を通し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。現在は玄関、各フロアの出入り口は殆どオープンにしている。現在夜間のみ転倒防止の為ベッド柵を使用している例がある。	職員数の兼ね合いがあり難しいところであるが、安心・安全を意識し過ぎた支援で自立を妨げる事がないように気を付けたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を行い事例や映像を用い理解を深めています。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	日常生活自立支援事業や成年後見人制度を利用している方がいるが全職員の理解へは繋がっていません		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約時には、文書口頭での説明を行い 疑問点などもすぐに解決でき不安なく契約出来るように時間を使っています		
10	6 <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	主に来訪時に報告し要望等を聞くことのできる体制を心がけています 必要に応じご家族様との面談も行っています	家族の来訪時にホームでの様子を伝えると共に、意見や要望等を聞いている。運営推進会議時にも発言の機会がある。昨年、本社から家族に向けたアンケートが実施された。	外部評価に於けるアンケートの回答は、18名中14名であった。家族からは意見や要望、苦情等何でも言って貰える関係作りを今後も大切にされたい。
11	7 <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	定期的に行うミーティング等や日頃から情報交換・共有に努めています 必要に応じ個別面談を行い風通しの良い環境作りを心がけています	会議や日常業務を通し意見や要望等を表出する機会を持つ。ホーム長は毎月本社へ行く事でホームの現状報告を行い、また就業環境の向上に向け声を届ける等努力がなされている。	勤続年数の長い職員が多い。積極的な意見や提案を更に反映したホーム作りへと、期待する。
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	働きやすい環境作りを心がけていますが資格手当などの条件などが整っていない キャリアパス制度の検討もされているが実践はまだ出来ていない		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部への研修参加はほとんど出来ていない 職員に合わせた研修参加を勧めていきたい		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	市内の事業者連絡会等の参加で交流はあるがホーム長ばかりになってしまっています		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の体験等を通して不安などを聞き、安心して生活が開始出来るように表情などの観察をし寄り添うケアを大切にしています</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>今までの生活の悩みや不安を聞き、今後の生活の希望を聞くように努めています</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>情報収集に努め必要な対応が出来るよう努めています</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>観察をしっかり行い、傾聴に努め安心して生活出来る居場所作りを心がけています</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃の状況などの報告をしっかり行い家族様も気兼ねなく来訪して頂ける環境作りに努めています</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様の理解の下に馴染みの関係の継続を勧めるが難しい 来訪しやすい環境作りには気を配っています</p>	<p>年間を通して行事やその時々ので行事食を食し、季節を感じ取っている。初詣は波太神社に詣で、新年を祝っている。家族の協力で馴染みの美容院へ通われている方も数名おられる。</p>	<p>スポーツ新聞を継続購読している方もおられる。続けてきた事、好きな事、馴染みの場所への訪問等今後も継続して支援されるよう努められたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士が会話等を楽しめる環境作りを行っています</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も必要に応じ対応していますが、看取りや医療機関への入院となるので継続した支援は難しい</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が困難な方が多い中ですが本人の立場に立ち対応しています	意思表示が難しい方もおられるが、自分に置き換えて意思の把握に努めている。“自分にとって当たり前でも入居者には違う”と、指導している。	研修「接遇マナー」で学んだ事をよく理解し、実践に繋げて頂きたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご家族様やケアマネジャー様より情報を頂きホームでの生活に活かしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々記録に残し一人ひとりの生活の把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様の状況をしっかり把握しケアプランへつなげていますまた月1回のミーティングでモニタリングを行っています 必要に応じ家族様や看護師等の意見を取り入れています	「往診診察書」「訪看・Dr.連絡シート」や「在宅療養計画書」を活かして、介護計画を作成している。家族には「要望書」を用い要望を聞いている。時には協力医療機関（いんべさくらクリニック）に出向き、意見交換をする事もある。介護計画の見直しは6か月毎に行っている。	一人ひとりが喜びある毎日となるように、個々に副った介護計画を作成されたい。入居者と職員が共に喜び合えるような介護計画作成に期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活は記録に残し職員で共有出来ています またモニタリング時にも活用しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホームでの生活が維持出来ることを大切に考え 必要に応じ対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用はあまり出来ない 豊かな暮らしの為に活用を勧めていきたい		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族様の意向に合わせた対応をしています 適切な医療が受けられるよう支援しています	協力医療機関による往診が月2回、訪問歯科による月1回の診療、及び訪問看護師による看護を週1回受けている。結果を報告書に記入。他科への受診は家族の付き添い協力を得ている。	協力医療機関、訪問看護師、かかりつけ薬局との連携で、今後も適切な医療が受けられるよう支援されたい。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護師との情報共有がしつかりでき 必要に応じ適切な医療へつなげています 良い関係が保たれています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>介護から医療機関への情報提供を行い 入院時の早急な対応に心がけています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階では口頭だけの意思確認だが終末期にむけてのご希望等を聞きます 重度化に向かう中でも状態に合わせてご家族様との連絡を密にし方針を決定するようにしています</p>	<p>入居時、「看取り指針」をもとに口頭で説明し、その後はその都度意向を確認し、入居者の望む最期のあり方を支えている。</p>	<p>多くの職員が看取りを経験されている。今後もきめ細やかな支援がなされる事を希望する。運営推進会議でも議題として取り上げ、入居者や家族に安心した支援がなされている事を報告されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時などの初期訓練は行っていない 観察ポイントを把握し救急や医療機関へ連絡を取るようになっています</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を通し問題点があるが全て解決出来ていない 地域の協力体制も整えられていない</p>	<p>直近（3月16日）では消防立合いのもと、夜間1階脱衣室よりの出火を想定し、消火訓練・要援護者情報収集及び伝達等の訓練を行った。まずは通報、2階の歩けない入居者に対しては布団に乗せ階段を引っ張る、との申し合わせが出来ている。</p>	<p>災害時の備蓄の更なる充実と、津波対策等を今後の課題としてよく話し合いたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重することに心がけて対応しています	入居者の声に耳を傾けることを大切にし、介護において何が大切かを職員で話し合い、安心安全で楽しい毎日を送れるよう心がけている。	(意思決定の出来る人には) 自己決定しやすい言葉かけをするよう今後も働きかけて頂きたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方へは ご本人の想いを尊重し対応するよう心がけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活を大切に考え対応しているが 重度化が進み難しくなっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪やその人らしい服装など支援できています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介助を必要とする方が増えているが 箸やスプーンなどを持って頂き少しでも自分で食べる楽しみとなるよう支援しています 片づけや準備も共に行っていきます	職員が交代でメニュー作成と調理を行い、入居者と職員が同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。	外食は減ったが行事食（正月・節分・ひな祭り・夕涼み会・クリスマス・誕生会）等、趣向を凝らしている。高齢者にとり食の楽しみはとても大きなものである為、これからも大切にされたい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事量となるよう水分・食事量共に記録に残し把握に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態に合わせた口腔ケアを行っています 毎食後は出来ていない		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンに合わせた対応を行っています 排泄についても記録に残しており健康状態の把握に役立てています	排泄チェック表により、個別に排泄パターンに合わせ支援を行っている。自立している人が多数みられる。	排泄の自立は自信や意欲と深いつながりがあるので、大らかに気持ちよく排泄する支援を継続したい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分等でのコントロールに努め 無理な場合は主治医へ相談しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	重度化に伴い希望通りとはいかないが安全に入浴できるよう支援しています	窓があり明るい。一日3人、午後2時～4時半の間に1対1か2対1で入浴し、湯はその都度交換している。嫌がる人には抵抗感を和らげ気持ちよくなることを伝えたり好みのシャンプー等を使用したり工夫している。	入浴の効果をよく理解し、安心安全を心がけてその人のペースに合わせた入浴支援を今後も継続されたい。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>室温管理や気持ちよく就寝して頂けるような声かけと、更衣を心がけています</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>目的をしっかりと理解し、本人の状態も把握し主治医と相談しながら安全な服薬となるよう支援しています</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>楽しみある生活となるように個々に合わせた家事や楽しみごとなどを取り入れています</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>日常的な外出は出来ていない庭に出るなど支援を広げていきたい。ご家族様にも理解をもらい支援を広げていきたい</p>	<p>介護度が高くなり、以前のように皆そろって外出する機会は少なくなった。初詣や近所の花見に行った。少人数で喫茶店や海辺に行くことを検討中である。</p>	<p>庭にベンチを置き、花壇や木々を眺めたり外気に触れるなど、積極的に戸外に出る支援に期待する。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理はほぼ職員が行っています。状況や希望に合わせた支援は行えます</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じ対応は出来るが年賀状など年に一度程の支援となっています</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な雰囲気や居心地の良い空間となるよう支援しています</p>	<p>広い廊下に手すりがつき、所々に椅子が置かれ自由に往き来出来るように配置されている。カレンダーと時計、季節の飾りつけや書道、皆の写真が貼ってあり、楽しい。</p>	<p>いい和室があるので、入居者や職員が利用出来るよう工夫されたい。重度介護者に手を取られ掃除に手が回らなくなってきた為か、少し汚れが目立つ箇所が見られた。外部の力を借りるなど、本社と相談されては如何か。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日々、利用者様の思い思いで過ごせ頂きます</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>混乱なく穏やかに生活できるように使い慣れた布団やタンスなどを持ち込んで頂いています</p>	<p>大きな窓から外の景色が見え、部屋が明るく開放感がある。思い出の品や家族の写真等を飾ったり、鏡台、テレビの設置、絨毯に布団を敷く人等、思い思いの部屋作りが出来ている。</p>	<p>これからも、暮らしやすい居心地の良い居室となるよう支援を続けて頂きたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全を第一に考え お風呂・トイレなど分かりやすく掲示しており自立支援へつなげています</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない